

令和3年度 国際・社会探究 I の目標

1. 国際・社会探究 I の目標

生まれ育った若狭・小浜地域の(国際社会に共通する)課題を発見し、他者と協同してその課題の解決を図る探究的な学習を通して、論理的に思考し表現する力を育てると共に、課題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

2. 育てたい能力と資質および態度…SSH と同じ

- (1)適切に課題を設定し、探究の計画を立案する。
- (2)課題の解決に必要な情報を収集し、分析した上で自らの考えを形成する。
- (3)他者と協同して課題を解決する。
- (4)相手や目的に応じて論理的に表現する。
- (5)自らの学習を省察し、将来に生かす。
- (6)学びに対する自主的、主体的な態度。

3 課題設定能力のルーブリック

「課題設定能力」とは、事象の背景や現状を分析し、科学的根拠を持って仮説を立て、自らが発展的、独自性のある課題を設定する能力。

身に付けたい力	評価項目	5 素晴らしい	4 よい	3 合格	2 もう一歩	1 かなりの改善が必要
①地域の問題認識の深さ	②課題設定理由 ④探究成果	誰がターゲットであるかが明確で有り、地域の様々な情報を正確に収集し、問題の背景を総合的な視点でとらえ、自らの課題として課題をとらえた説明がある。	誰がターゲットであるかが明確で有り、地域の様々な情報を正確に収集し、問題の背景を総合的な視点でとらえた説明がある。	ターゲットは絞られており、地域の様々な情報を収集し、問題の背景についての説明がある。	ターゲットが絞り切れておらず、地域の情報の説明が少なく、偏っている。	ターゲットもあやふやで、地域の情報の説明がない。
②課題の本質性と発展性	②課題設定理由 ④探究成果	課題の本質性について、現状把握や先行研究を踏まえて総合的な視点でとらえ、数値やデータなどの具体的な説明が課題設定理由や研究の背景にある。	課題の本質性について、現状把握や先行研究を正確に踏まえて、数値やデータなどの具体的な説明が課題設定理由や研究の背景にある。	課題設定理由や研究の背景に、現状や先行研究を踏まえた必要最小限度の説明がある。	課題設定理由や研究の背景に、現状把握や先行研究を踏まえた説明が少なく、偏っている。	現状把握や先行研究を踏まえていない。
③問題解決に向けた構想力	③探究計画 ④探究成果	適切な調査方法、分析方法を選択し、課題を解決する具体的な方針を構想した。	適切な調査方法、分析方法を選択し、課題を解決する方針を構想した。	課題の解決が期待できる最小限必要な方針を構想した。	課題の解決ができる方針を構想したが、不明瞭である。	課題の解決に至る具体的な方針を構想しなかった。
④学びに対する自主的、主体的な態度	①探究課題 ②課題設定理由 ⑤今後の課題	自らの興味関心、知識や技術を十分に把握したうえで、それらを活用しようとしている説明がある。	自らの興味関心、知識や技術を十分に把握した説明がある。	自らの興味関心を示した説明がある。	自らの興味関心、知識や技術の認識が浅い。	自らの興味関心、知識や技術の説明がない。

4. 課題(目標)設定能力(育てたい資質・項目)

①「地域(対象)の(身近な)問題認識の深さ」

…その課題(目標)は地域(対象)の身近な問題の現状や背景を総合的に深く認識したものか。

②「課題の本質性と発展性」

…その課題は学問分野において本質的なものか(背景や現状、先行研究を踏まえたものか)

→その目標を達成すると現状が良くなるか

③「課題解決に向けた構想力」

…その課題解決を達成するために現実性のある研究方法、研究計画があるか。

④「学びに対する積極性・主体的な態度」

…課題を設定する事への積極性や研究活動の意義を示す説明があるか